

The Style-June 2011

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

—里山スタイル—

—Contents—

- 1.style  
まちづくり  
～おもてなしPJ～  
イベント情報
- 2.style  
第1回・里山イズム  
～坂本明久さん～  
たんたん information  
米粉人気のひみつ
- 3.style  
第1回・里山流儀  
～三和ダッシュ村～
- 4.style  
講座 information  
たんたんPJ

福知山中心市街地  
活性化事業  
「まちなかおもてなし  
プロジェクト」



まちなかおもてなしPJは着地型観光をキーワードにして福知山市の中心市街地エリアの活性化を実現するためにソフト面の事業を充実させ、地域資源を生かした取り組みを実施することでまちなかの活性化につなげることを目的としています。5月13日に第1回のおもてなしPJ会議があり、福知山市の市街地活性化を思う団体・個人が集まりました。市街地を盛り上げ、福知山全体の活性化に繋げたい思いは皆同じで市街地以外で活動する任意団体や興味本位で参加する個人をうまく活用し、市民力で地域コミュニティ、催しが出来る仕組みづくりにしていくことで持続可能なプロジェクトにしていかねばならないと思います。

これまでの市街地中心活性化事業といえば商店街の活性化に重点が置かれた箱物事業が中心で、商店街はそれに見合った営業展開に必ずしも前向きとはいえませんでした。それでも市街地中心事業は商店街に固着した結果、まちなかコミュニティの衰退を招いてしまいました。これまでの反省点を踏まえた「まちなかコミュニティネットワークの構築・再生」、「仕組みづくり」の在り方を今こそ、市民全員で考えていく時期に来ています。なぜ市街地中心事業がうまくいかなかったのかを精査し、これまでの概念、やり方などに捉われず地域の振興に結びつけられるよう方策を考えなければなりません。

◆Event Information

2011年6月5日 「アート&クラフト」	2011年6月4日～5日 「緑化まつり」	2011年6月の土日 籠神社と古代丹後王国ガイド
●アート&クラフト実行委員会主催 場所：三段池公園	●福知山市都市緑化協会主催 場所：福知山市緑化植物園	●籠神社 場所：京都府宮津市 籠神社

June

## ◆たんたん information

- 篠山市「大国寺と丹波茶祭」  
→ (6/4~6/5)
- 綾部市「花しょうぶ園」  
→ (見頃6月) 花しょうぶ園  
約200種類、15万本の花菖蒲が咲く。
- 舞鶴市「自然文化園アジサイ展」  
→ (6月上旬頃)  
50品種5万本の紫陽花が咲く。
- 福知山市「観音寺のアジサイ」  
関西花の寺「第1番霊場」で1万本の紫陽花が咲く。
- 綾部市「東光院のアジサイ」  
→ (6月~7月上旬)  
約2500株の紫陽花が咲く。
- 朝来市「竹田寺町通り花しょうぶ祭り」  
→ (6月上旬~中旬)  
城下町の風情が漂う通り沿いの水路に3000本の花しょうぶ

## ◆米粉人気のひみつ



小麦粉はほとんどが海外からの輸入ですが、米粉はほとんど国産で安心・安全の面で違います。食糧自給率の低下は将来の原料供給や、農業の活性化にも深刻な問題でもあり、そこで国産米が使われる米粉が注目されているのです。サラサさんが作られた米粉は、丹波産のコシヒカリを使い米の質にこだわっておられます。

## 里山イズム

## 第1回 ~農家レストラン・坂本明久さん~

## 丹波の食文化の発展を考え、農協職員から農家レストランへ。

福知山市と丹波市を分ける標高604メートルの親不知のふもとにログハウス風の建物の農家レストラン（福知山市市寺）があります。ここではオーナーの坂本明久さんが親不知の流水を引き込み、育てたこだわりの米、野菜を使った料理を提供されています。坂本さんは元農協の技術指導員で農協職員時代に食の裏側というものを垣間見て、日本の「食」について考えるようになったそうです。ある港で食料の輸入現場を視察した際、カビが生えた輸入小麦を発見。虫よけのため、農薬を振りかけてから輸入される食材もあったそうで、「食は人や社会、文化をつくる基本。安全、安心が利益追求で脅かされるのは理解できない」と話します。03年に農協を退職し、地元福知山に戻られ、安心安全にこだわった農家レストランを開業されます。“福知山にこれといったものがない”ということで、蕎麦・ハーブ作りを始められ、ハーブコーディネーターの資格を取得。現在は中丹地域で採れる品質の高い米を使って里山の活性化にも力を入れ、米粉食品普及推進協議会という民間主体の団体で3年ほど前から中心メンバーとして活動し、米粉の普及に尽力されています。



## 6次産業化を目指し、里山の持続可能な社会につなげる。

農産物に恵まれているものの京都北部では2次産業がなく、食品の加工は京都市内などの地域外の所の企業に頼らなければならない状態で、せっかくすばらしい産物をつくっても農家の利益に結びつかない現状があります。坂本さんは6次産業化によって農業で雇用の創出と里山活性化を目指すために、先駆者としても活動されています。その中で、米粉を使った商品開発、米粉のクッキー「プティ・フル」や米粉のスープ「リズ・リエゾン」の開発を行い、京都北部の食文化、食産業をつくることで里山が持続可能な環境を見出したいと考えておられます。「京都北部のような農村部が発展するには農林漁業を盛り上げないと将来はない」といいます。現在のところ、加工の部分は地域外の企業が行っていますが、将来的には自分たちのグループで加工も行えるように現在福知山市と6次産業化を目指すモデルとなるべく精力的に活動されています。



坂本さんご自身が経営される農家レストランでは自家栽培にこだわった丹波・丹後産で安心、安全の一風変わった料理が味わえますし、里山の「食文化」に対する考え方を見直すキッカケになるのではないのでしょうか。是非、皆さんも訪れてみてください。



◆農家レストランサラサ 住所：福知山市市寺 1239 代表：坂本明久

TEL:0773-22-3297 <http://sarasa.ina-ka.com/>

<完全予約制>



## 都市・農村交流を目指し、 世界一の巨大ブランコ誕生までの道のり。

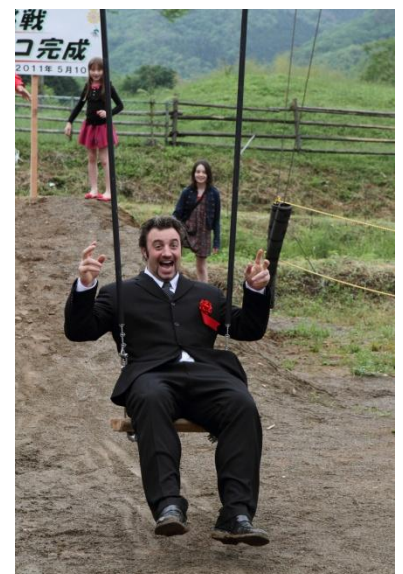
みわ・ダッシュ村は、清水三雄さんが里山の荒廃、過疎化が深刻化してきた三和町を再生し、都市と農村の交流を行いたいという思いから、自身が理事長を務めるNPO法人京都SEINEN団の仲間たちに呼びかけ、誕生にしました。その中で話題作りの一つとして世界一の巨大ブランコ計画が始まります。まずは2009年9月、韓国の巨大ブランコを超える高さ11.3メートルのブランコ建設の完成で日本一を達成。これが月間1000名もの来客を呼びました。そして今回カナダの20.8メートルを超えるブランコ作りに着手。今年5月10日の仮組の後、ボランティアを含む総勢45人がクレーン、高所作業車を使い6時間で完成、5月22日にお披露目に至ったのです。



## 2つのギネス挑戦、 巨大ブランコ完成イベント with 結婚式。

ギネス登録を目指し始まった巨大ブランコの完成お披露目式にふさわしい企画としてみわダッシュ村ならではの発想で2つのギネスで結婚식을味わってもらおうと世界一のブランコ結婚式と世界最大のいなり寿司によるケーキ入刀が企画されました。また、この日2011年5月22日にちなんで「いい夫婦アワード」を行い、明るい話題で福知山を元気にしようと夫婦生活50周年以上の自他ともに認める仲のいい夫婦が表彰されました。ギネス挑戦巨大ブランコ結婚式には昨年募集した東京在住のカップルが選ばれ、2人はダッシュ村の活動に共感し、まちおこしに貢献したいということで挙式を決められました。親族の方・友人・関係者と来場者(300人程)が一体となり、大きな盛り上がりを見せました。また、世界最大(ギネス)のいなり寿司のケーキ入刀?が行われたこの日、2つのギネスが生まれ、里人が三和町の歴史を動かした大きな1日でした。

この巨大ブランコ建設は、地元の人達・都会の人達を巻き込み、年間4万人の来場者を見込む『地域活性化』を推進する一大事業です。そして、大事なのはみんなで楽しみながら町・村おこしを行っているということです。一度は危ぶまれた地域コミュニティや都市農村交流。しかし、里山の再生を目指し、そこに住む里人自身が里山を守ろうと様々な取り組みをされています。三和だけでなく里山が抱える問題として高齢化、後継者問題は解決しておらず、自分たちになにができるか、考えるキッカケになれば幸いです。



新婦友人のニコラス・ペタス氏

## 講座

### Information

#### ◆ デジタルカメラ講座シリーズ

##### ●被写体を引き立たせる撮り方 パート①

被写体のテーマを決めて、被写体を引き立たせるために絞り、構図の決め方などのテクニックを学ぶ実践講座。

- ・日 時：6月18日(土)
- ・会 場：ヨシヤカメラ 福知山市東長53番地(広小路商店街角)
- ・時 間：9:30~15:30(休憩12:30~13:30)
- ・受 講 料：2100円
- ・定 員：10名(デジタルカメラを持参して下さい)
- ・講 師：吉田博氏(ヨシヤカメラ代表取締役社長)
- ・主 催：NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク
- ・協 力：ヨシヤカメラ

#### ◆ 情報発信講座シリーズ

##### ●SNSワークショップ(ビジネス活用編)

フェイスブックを活用している人を対象に知識、機能、使い方のスキルを上げるための勉強会を開きます。

- ・日 時：6月15日(水)
- ・会 場：当法人の事務所(福知山市昭和町77) ※変更あり
- ・時 間：10:00~16:00(休憩12:00~13:00)
- ・定 員：10名(無料)
- ・講 師：谷垣翔(NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク)
- ・主 催：NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク

## 京都たんたんInformation

### たんたんPJ ★夜久野×銀河鉄道999

漫画家 松本零士先生が「銀河鉄道999その心の生まれた夜久野」といわれた夜久野。その言葉の基となった天文学者・故荒木俊馬先生が「大宇宙の旅」という本を夜久野で執筆され、銀河鉄道の心は夜久野にあるとおっしゃっています。夜久野の星空はまさに銀河鉄道999の町と呼ぶのにふさわしいほど美しく、魅力的です。私たち京都丹波・丹後ネットワークは、夜久野の星空、そして銀河鉄道999を絡めたイベントを企画していきます。

### NPO法人 京都丹波・丹後ネットワークからひとこと

私たちはNPO法人だからこそ出来る新たなネットワーク作りを京都府の協力を得ながら実現していきたいと思っています。また、IT(HP・ブログの作成・更新など)の相談会、講座も何人か集まれば実施致しますので、お気軽にご相談ください。(有料出張相談もOK)

### 「京都たんたんだより」から「里山スタイル」にリニューアル

これまで京都たんたんだよりの愛称で親しまれてきましたが今月号から名称変更と共に記事のリニューアルを致します。私たちNPO法人は里山の地域間コミュニティ、地域の垣根を越えたネットワークづくりをすることで、里山に暮らす人々が里山のもっている本来の良さに気がつき、磨くことで丹波・丹後の生き方「スタイル」を確立していくべき時に来ています。里人ならではの生き方、生き様で里山活性化に取り組む方々をクローズアップ、情報誌を通して地域間のコミュニティを広げていきたいというコンセプトから本誌のリニューアルに伴い、名称変更に至りました。

### 編集後記

今回からは里山ならではの生き方をクローズアップし、里山活性化にどう活かされているのか、またその課題を取り上げました。私たちNPOでは里人たちを有機的に結び付け地域の振興につないでいきたいと考えています。

発行元：NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク  
〒620-0052 福知山市昭和町77 谷本ビル1F  
TEL&FAX (0773) 45-3507  
Eメール：tantan@kyoto-tantan.net